

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 岡崎市立常磐小学校 ] 担当教諭名 [ 丸中美来・安藤春稀・杉山康子 ] ( 5年生 43名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Taipei Municipal Zongshan Elementary School ] 担当教諭名 [ Hui-Ju Wen ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	10年後の幸せな未来を考えよう	70
	外国語	外国の人に自己紹介をしよう	4
	国語	知りたいことを聞き出そう	4
	国語	問題を解決するために話し合おう	5
	図画工作	あったらいい町、どんな町	10

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	みんなが笑顔でいられる幸せな未来を実現しよう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	人間も動物も自然もみんなが笑い、仲良くいられる世界を実現できるように、まずは、身近にいる友達や家族、学校や地域の伝統文化も大切にしてほしい。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
自分の身近なものへの関心から、SDGsや台湾の児童との学習で、世界で起きていることや、問題、取り組みなどにも関心をもつようになった。また、外国語や世界の文化に興味を示す児童も増え、児童の世界を大きく広げることができた。	融合の場面で、自分の考えと異なる考えが出たときに、その考えを多面的に見たり、批判的に捉えたりするのが難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
外国語に対して、苦手意識があった児童が多かったが、台湾との交流で英語を使うと知り、外国語の授業に積極的に取り組めるようになった。世界の問題にも興味を示すようになり、児童同士の話題の中に出てくることが増えた。また、台湾に行き、交流している友達に会いたいと思うようになった。	児童と一緒に学ぶ楽しさを感じることができた。児童と同じ目線に立って学ぶと、互いに刺激し合い、追究意欲が高まるのを実感した。台湾の文化や言語などに、児童と共に驚いたり、疑問に思ったりすることで、児童との心の距離を縮めることができた。また、どんなに離れていても、共に学ぶことができるのだと、教育の可能性を感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 9月	① SDGsについて考える （「もしも世界が100人の村だったら」ワークショップ・SDGs すごろく） ②台湾の調べ学習 ③自己紹介動画の作成（「Clips」） ④台湾の自己紹介動画視聴	①なぜSDGsがあるのかが分かった。世界の現状を知り、自分にもできることはないか考えたい。 ②台湾と日本と似ているところがある。台湾語の発音知りたい。 ③習った英語を使って紹介しよう。常磐小や学区のことも紹介しよう。 ④日本と台湾では、いろいろ違うことがありそうだった。台湾のみんなの自己紹介も見たから、2学期の交流が楽しみになった。	外国語 社会 総合
共有 テーマ学習	10月	⑤どんな未来に生きていきたいか考える（「コラボノート」） ⑥自分にできることを考える ⑦台湾との意見交流	⑤誰もが病院に行ける世界、差別のない世界を作りたい。 ⑥友達に優しく接し、好き嫌いなく何でも食べる。 ⑦日本は世界の問題から、身近なことを考えていたけど、台湾は地球規模で解決方法を考えている。台湾の子たちにできることは何か知りたい。日本も地球規模で考える必要がある。	国語 総合
融合 メッセージ作成	11月	⑧伝えたい思いを言葉にする ⑨台湾との意見交流	⑧マスクをとって笑い合える生活にしよう。人や生き物が仲よく、安心して暮らせる世界にしよう。 ⑨最初、台湾と日本では、全く違うことを考えてと思ったが、伝えたいことや目指しているゴールは同じだと思った。	国語 総合
創造 壁画制作	12月	⑩壁画づくり ⑪台湾発表	⑩やっとできた。早く世界みんなに見てほしい。 ⑪世界に自然をとどけるイメージでかいたから世界にとどけることを考えてかいてほしい。	総合 図工
評価 振り返り 自己評価	2月	⑫まとめ動画作成 ⑬台湾まとめ交流	世界が広がった。前の自分よりも明日が楽しく感じるが多くなった。他の国とも交流をして、世界を広げていきたい。日本の中でも、どこかの都道府県と交流したい。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけない力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	台湾の文化や言語に関心をもち、自主的に調べ、学芸会で台湾の文化を披露できた。日本の文化を台湾の児童に伝えるために、図や写真を使って分かりやすくまとめることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	台湾の意見を聞き、自分の考えと相手の考えを比べ、疑問を持ったり追究したりすることができたが、相手の意見をそのまま受け入れて考えることも多かった。
主体的に考え行動する力	5	誰かのために、自分にできることを考えて行動する児童が増え、国際協働学習以外の場面でも、児童が活躍する場面を見ることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	英語が聞き取れなくても、真剣に聞こうとし、相手の意見をふまえて、自分の意見を述べることができた。台湾の児童と交流したことで、児童の世界をひろげることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	2030年の未来像を思い浮かべ、それを表現できるように試行錯誤したことで、一人一人の思いが入った壁画を作ることができた。